

第3回 坂東市民隊

将門公ゆかりの地 史跡慧日寺跡と 鶴ヶ城 会津まつり 1泊2日バスの旅

9月22日(火・祝)・23日(水・祝)



会津まつり in 2014

【会津まつり】

再建から半世紀の節目を迎える会津鶴ヶ城。
戊辰戦争の激戦で大きな被害を受け、明治7年に取り壊されたが、昭和40年往時の姿に再建されました。会津まつりは戊辰戦争における、敗戦開城日の9月23日を基準として行われる慰靈を兼ねたお祭りです。鶴ヶ城本丸では、赤瓦に生まれ変わった天守閣をバックに「会津藩公行列出陣式」が、華々しく厳かに執り行われます。中でも天守閣の一層部に設けられたステージから本丸の特設ステージ前に向って勢い良く放たれる「御神矢放ち」は圧巻です!!

【史跡慧日寺跡】

平安時代に徳一菩薩によって創建され、一時は大伽藍を形成していました。
金堂・中門は、発掘調査の成果をもとに、平成20・21年に復元されました。
1200年という長い年月を超え、訪れた人々を魅了する会津仏教文化発祥の地として親しまれています。
史跡の一画には、平将門公が寄進したと伝えられている「惠日寺山門」や平将門公の三女と伝えられる「瀧姫の供養碑」(如藏尼碑)などがあり、郷土の英雄である平将門公との関わりを示す遺跡が存在します。
(現在の門は江戸中期に再建されたものになります。→右写真)



恵日寺本堂・山門